

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月27日

ニチアス健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	27265
組合名称	ニチアス健康保険組合
形態	単一
業種	化学工業・同類似業

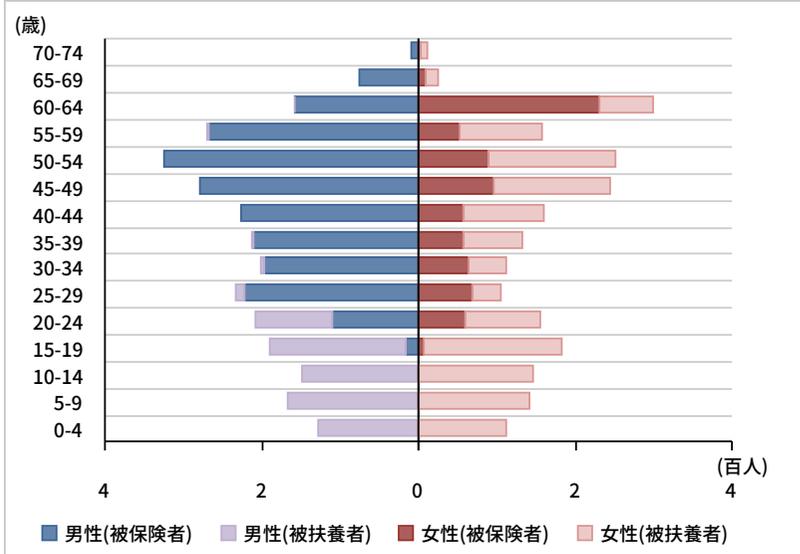
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	2,680名 男性77.6% (平均年齢44.3歳)* 女性22.4% (平均年齢40.8歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	4,737名	-名	-名
適用事業所数	4カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	48カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	90% ₀₀	-% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	11	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,731 / 2,227 = 77.7 %	
	被保険者	1,483 / 1,615 = 91.8 %	
	被扶養者	248 / 612 = 40.5 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	121 / 300 = 40.3 %	
	被保険者	121 / 250 = 48.4 %	
	被扶養者	0 / 50 = 0.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	3,194	1,192	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	6,262	2,337	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	12,758	4,760	-	-	-	-
	疾病予防費	91,670	34,205	-	-	-	-
	体育奨励費	322	120	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1,552	579	-	-	-	-
	小計 …a	115,758	43,193	0	-	0	-
経常支出合計 …b	1,794,035	669,416	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	6.45		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	16人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	109人	25～29	221人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	197人	35～39	210人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	226人	45～49	278人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	325人	55～59	268人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	158人	65～69	75人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	10人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	7人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	60人	25～29	69人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	65人	35～39	57人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	57人	45～49	95人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	88人	55～59	52人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	231人	65～69	8人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	127人	5～9	167人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	149人	15～19	174人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	99人	25～29	12人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	4人	35～39	2人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	3人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	112人	5～9	141人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	146人	15～19	175人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	97人	25～29	36人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	47人	35～39	75人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	102人	45～49	148人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	163人	55～59	106人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	69人	65～69	17人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	9人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

被保険者のうち男性78%、女性22%。年齢は男性50歳～54歳が最も多く、女性は45歳～49歳が最も多い。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

個別の事業は網羅されている
各種健診や人間ドック等への補助が手厚い

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
--------	-------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健保ニュース
保健指導宣伝	健康冊子「すこやかファミリー」の配布
保健指導宣伝	健康保険制度・健康衛生パンフレット配布

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ホームページ管理運営
保健指導宣伝	「医療費通知」等
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品通知
疾病予防	人間ドック
疾病予防	健康診断補助金(婦人科健診含む)
疾病予防	肺ガン検診
疾病予防	脳ドック
疾病予防	PET検診
疾病予防	巡回レディース健康診断
疾病予防	前期高齢者疾病予防費
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	常備薬補助金
疾病予防	重症化予防対策事業
疾病予防	動脈硬化予防検診
疾病予防	禁煙外来事業
疾病予防	マイヘルスキャンペーン
体育奨励	レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進事業
体育奨励	健康づくり事業
その他	契約保養所

事業主の取組

1	定期健康診断
2	定期健診事後措置に伴う個別指導
3	特殊健康診断

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1	健康管理事業推進委員会	保健事業の実施報告及び事業計画に関する情報提供と意見交換。	全て	男女	25～(上限なし)	基準該当者	0	未実施	未実施	新型コロナウイルスの影響により開催中止	1
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2	健保ニュース	健保組合の運営状況を周知し、健保組合の存在意義や現在の健康保険組合を取り巻く情勢、また健診・保健指導等や幅広い保健事業の内容を知ってもらおう。そのうえで、自身の健康に関心をもってもらい、積極的に組合事業に参画してもらうための広報ツールとして広めていく。	全て	男女	16～74	加入者全員	1,259	・時期：2回/年（5・10月）発行 ・全被保険者の自宅に郵送 ・5月：2,514人、10月：2,462人	健保組合の予算・決算、健康保険制度、法改正、各種事業の案内等の情報提供	配布先の住所管理	5
	2	健康冊子「すこやかファミリー」の配布	加入員全体のヘルスリテラシー向上。配付対象者に対して、閲覧数を適宜確認する。	全て	男女	16～74	加入者全員	7,109	・時期：1回/月配布 ・全被保険者の自宅に郵送	健康保険制度や健康情報等の情報提供 自宅発送のため、被扶養者とのコミュニケーションに有効	配布先の住所管理	5
	8	健康保険制度・健康衛生パンフレット配布	時流にあった健康情報の提供。	全て	男女	16～74	加入者全員	38	・時期：4月新入社員に社会保険ガイド他配布	新入社員に対して研修会時に冊子を配布	特になし	5
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査	・全国で実施できる医療機関と契約 ・実施率の向上	全て	男女	40～74	加入者全員	2,716	・時期：4月～3月 ・受診者数：被保険者（任継）27人、被扶養者300人、計327人	対象者の自宅に特定健診受診券、巡回レディース健診等の案内を郵送	被扶養者の受診率向上	5
特定保健指導事業	4	特定保健指導	・実施率向上 ・利用者の健康改善 ・指導終了者の特定保健指導対象者からの脱却率向上	全て	男女	40～74	被保険者	4,500	【時期】 随時 【実施状況】 積極的支援終了者：73人 動機付け支援終了者：67人 計140人	・各事業所へ委託先業者を派遣して実施 ・スマホを利用して保健師が遠隔にて保健指導を実施	実施率の向上	5
保健指導宣伝	8	ホームページ管理運営	ホームページの年間セッション数を前年度比増加を目標とする。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	2,031	・時期：4月～3月 ・健保ホームページ運用、個人毎ポータルサイト（MY HEALTH WeB）も併設 ・セッション数：12,466件（前年度1,013件増）	ホームページからポータルサイトへログインする方が増加。また、モバイル、タブレットからの閲覧数が増加。	ポータルサイト未登録者の対応	5
	2	「医療費通知」等	加入者に対して年間医療費通知を発行し、健康に対する認識を深めていただく。	全て	男女	0～74	加入者全員	580	・月次医療費通知は毎月12日頃に3ヶ月前の医療費をポータルサイトで随時更新、掲載。 ・年間医療費通知を被保険者の自宅に郵送 ・1回/年（3,298通）	・ポータルサイトで月次医療費通知を閲覧すると月1回ポイントが付与。 ・確定申告される方からの利用もある。	ポータルサイト未登録者の対応	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	2,7	ジェネリック医薬品通知	ジェネリック医薬品使用率を前年度比増	全て	男女	16～74	基準該当者	405	・毎月ポータルサイトへ該当者に通知 ・6月に対象者を選別し差額通知を配布：166人 ただし、差額500円以上の方を対象 ・令和4年度使用率72.1%	・差額通知により後発医薬品の利用促進・薬剤費の軽減 ・毎月WEBで後発医薬品の利用促進	ポータルサイト未登録者への対応	5
	3	人間ドック	被扶養者の受診率も上がるよう広報等の改善	全て	男女	35～74	加入者全員	24,867	・時期：4月～3月 ・受診者数：被保険者604人、被扶養者152人、計756人	・契約健診機関及び健保連指定の約100カ所の健診機関で受診可能 ・自己負担：8,000円	受診率向上	5
	2,3	健康診断補助金(婦人科健診含む)	健康状態の確認および疾病の早期発見治療	全て	女性	16～74	加入者全員	10,642	・定期健康診断追加項目補助：1,606人 ・40歳以上特定健診時項目外補助：8人 ・婦人科検診補助：被保険者277人、被扶養者205人、計482人、合計2,096人	・追加項目(血液、心電図、消火器)に費用補助 ・被保険者：婦人科検診、健診時追加項目の費用補助 ・被扶養者：40歳未満健診、40歳以上特定健診項目以外、婦人科検診の利用補助	被扶養者の受診率向上	5
	2,3	肺ガン検診	健康状態の確認および疾病の早期発見治療	全て	男女	30～74	被保険者	5,975	・時期：4月～3月 ・対象者：35歳以上の被保険者 ・受診者数：467人	・希望する35歳以上の被保険者に自己負担なしでヘリカルCT検査を実施 ・工場等へは検診車を配車	特になし	5
	2,3	脳ドック	健康状態の確認および疾病の早期発見治療	全て	男女	40～74	被保険者	7,288	・時期：4月～3月 ・対象者：40歳以上の被保険者 ・受診者数：251人	・希望する40歳以上の被保険者に脳ドックを実施 ・自己負担：8,000円 ・工場等へ検診車を配車	特になし	5
	3	PET検診	健康状態の確認および疾病の早期発見治療	全て	男女	40～74	被保険者	184	・時期：4月～3月 ・対象者：40歳以上の被保険者 ・受診者：3人	肺がん検診の要再検者を中心に実施	特になし	4
	3	巡回レディース健康診断	健康状態の確認および疾病の早期発見治療、被扶養者の受診率向上	全て	女性	30～74	被扶養者、任意継続者	1,103	・時期：4月～3月 ・対象者：30歳以上の女性の任意継続被保険者、被扶養者 ・受診者：106人	30歳以上の女性の任意継続被保険者及び被扶養者(配偶者)の希望者に全国巡回型の検診を実施	被扶養者の受診率向上	5
	2,4	前期高齢者疾病予防費	参加率の向上	全て	男女	63～73	基準該当者	1,291	・対象者：65歳～74歳：236人 ・保健指導実施者：116人	・希望者に電話による健康相談を実施 ・自己負担：なし	参加率の向上	5
	3	インフルエンザ予防接種補助	インフルエンザ予防接種の向上	全て	男女	16～74	被保険者	4,492	・時期：4月～3月 ・予防接種者：1,459人	事業所への医師派遣または、被保険者からの申請による補助	予防接種率の向上	5
	8	常備薬補助金	医療費の削減	全て	男女	16～74	加入者全員	572	・時期：4月、10月 ・購入者数：370人	・希望する被保険者に対して常備薬補助を実施 ・FAX,WEB注文	特になし	5
	2,4	重症化予防対策事業	早期の行動変容・意識付け・受診勧奨で重症化予防	全て	男女	22～60	加入者全員	462	・時期：2月 ・受診勧奨者：224人	・ICTによる健診結果のリスク判定及びアドバイス ・リスク保有者に対して個別の情報提供	リスク保有者及び未受診者の削減	5
	2,3	動脈硬化予防検診	予防検診として受診者増やす	一部の事業所	男性	18～74	被保険者	2,297	・実施事業所：6カ所 ・受診者数：186人	事業所へ医療スタッフを派遣し実施	特になし	5
	2,5	禁煙外来事業	禁煙希望者を募り喫煙率を減らす	全て	男性	20～74	被保険者	0	・時期：随時 ・実施者：0人	禁煙希望者を対象にスマホを利用した診査、禁煙実行、継続に向けたアドバイスを実施 ・自己負担：5,000円	喫煙率の低減	1

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2,5	マイヘルスキャンペーン	キャンペーン参加PRと目標達成者の向上	全て	男女	16～74	加入者全員	545	・時期：11月～12月（2ヶ月） ・生活習慣改善コース、40日以上できたら達成 ・登録者：62名 ・達成者：48名	・食事、運動、生活の3つのカテゴリから自分に合ったコースが選択できる。 ・パソコン、スマホを使って記録できる。 ・参加者100ポイント、達成者1,000ポイント付与	参加率の向上	4
体育奨励	1,2,5,8	レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進事業	健康セミナーを通じて生活習慣の改善を目指す。	全て	男女	16～74	被保険者	3,017	・実施事業所：大阪支社（名古屋支社：中止） ・1日セミナー：未実施 ・3ヶ月集中プログラム参加者：19人（初回21人、最終19人）	・事業所との連携による対象者の囲い込み ・委託業者を現地へ派遣	会場の確保	4
	5	健康づくり事業	利用事業所及び参加者の増加	全て	男女	16～74	被保険者	0	補助申請なし	補助申請なし	新型コロナウイルスの影響により自粛	1
その他	8	契約保養所	被保険者および被扶養者の健康維持増進とリフレッシュ	全て	男女	3～74	加入者全員	1,374	・時期：4月～3月 ・利用者数：20名 ・利用宿泊数：28泊	リソルの森、センボス（船員保険）他の施設を利用可	新型コロナウイルスの影響により自粛	3

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	【目的】安衛法に基づき実施 【概要】常時使用する従業員へ健康診断を行う	被保険者	男女	18 ～ 74	随時実施 受診率：__100%	職場にて実施	-	無
定期健診事後措置に伴う個別指導	【目的】健診後の措置及び健康指導 【概要】要精密検査、要治療者、継続療養者の検査及び治療結果の把握、生活習慣の改善指導	被保険者	男女	18 ～ 74	定期健康診断の有所見者に実施	産業医・保健師が該当者を呼び出し、生活習慣改善や受診勧奨を実施 保険医療機関にて二次検診から実施することにより、	指導を受けない人への対応	無
特殊健康診断	【目的】安衛法に基づき実施 【概要】該当者へ健康診断を行う	被保険者	男女	18 ～ 74	随時実施	職場にて実施	-	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

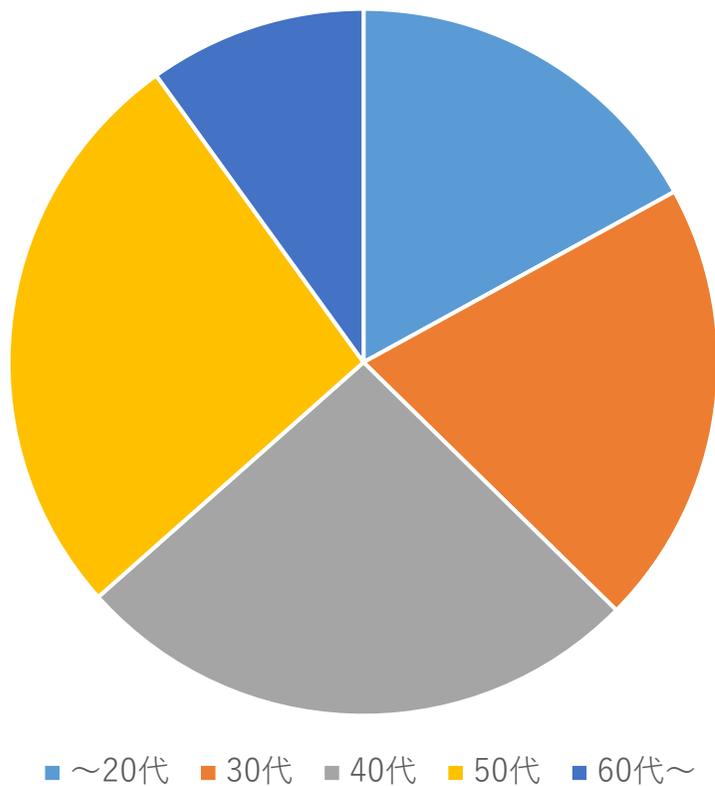
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		年齢区分別 加入者構成	加入者構成の分析	-
イ		年度別・年齢区分別 医療費総額 一人当たり医療費	医療費・患者数分析	-
ウ		レセプト分類 医療費厚生 (歯科、調剤、通院、入院)	医療費・患者数分析	-
エ		生活習慣病別 医療費	医療費・患者数分析	-
オ		年度別・疾病医療費 (19分類)	医療費・患者数分析	-
カ		疾病別 医療費 (121分類) 上位疾病	医療費・患者数分析	-

<p>キ</p> 	<p>年度別 がん部位別医療費 人数</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>-</p>
<p>ク</p> 	<p>年度別 メンタル系医療費（うつ、統合失調症、不安障害）人数</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>-</p>
<p>ケ</p> 	<p>婦人科系疾患（疾病別 医療費（121分類）上位疾病 女性</p>	<p>医療費・患者数分析</p>	<p>-</p>
<p>コ</p> 	<p>年度別 特定健診受診率</p>	<p>特定健診分析</p>	<p>-</p>
<p>サ</p> 	<p>年度別 問診回答（生活習慣病別医療費の要因推定、行動変容のアウトカム検証）</p>	<p>特定健診分析</p>	<p>-</p>
<p>シ</p> 	<p>年度別 特定保健指導実施率</p>	<p>特定保健指導分析</p>	<p>-</p>
<p>ス</p> 	<p>年度別 特定保健指導レベル別人数</p>	<p>特定保健指導分析</p>	<p>-</p>

セ		疾病別 リスクフローチャート（糖尿病）	健康リスク分析	
ソ		疾病別 リスクフローチャート（脳卒中・心筋梗塞）	健康リスク分析	
タ		CKD（慢性腎臓病）	健康リスク分析	
チ		BMI判定分布（健康分布図）	健康リスク分析	
ツ		年齢区分別 メタボリックシンドローム該当者数	健康リスク分析	
テ		年度別 後発医薬品の使用率、年齢区分別 後発医薬品の使用数	後発医薬品分析	

データ分析 年齢区分別 加入者構成

年齢区分別 加入者構成 被保険者

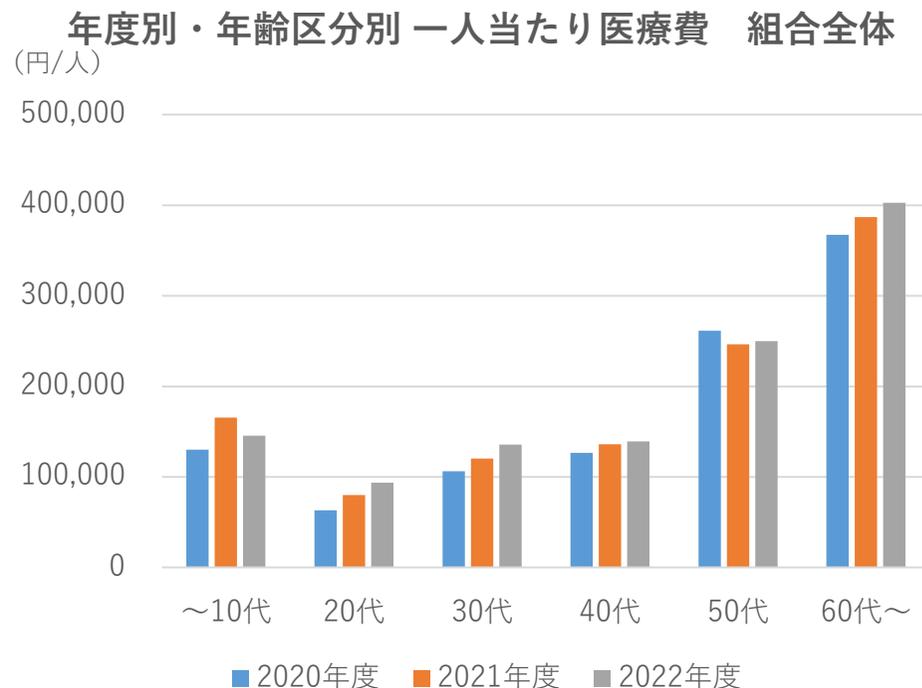
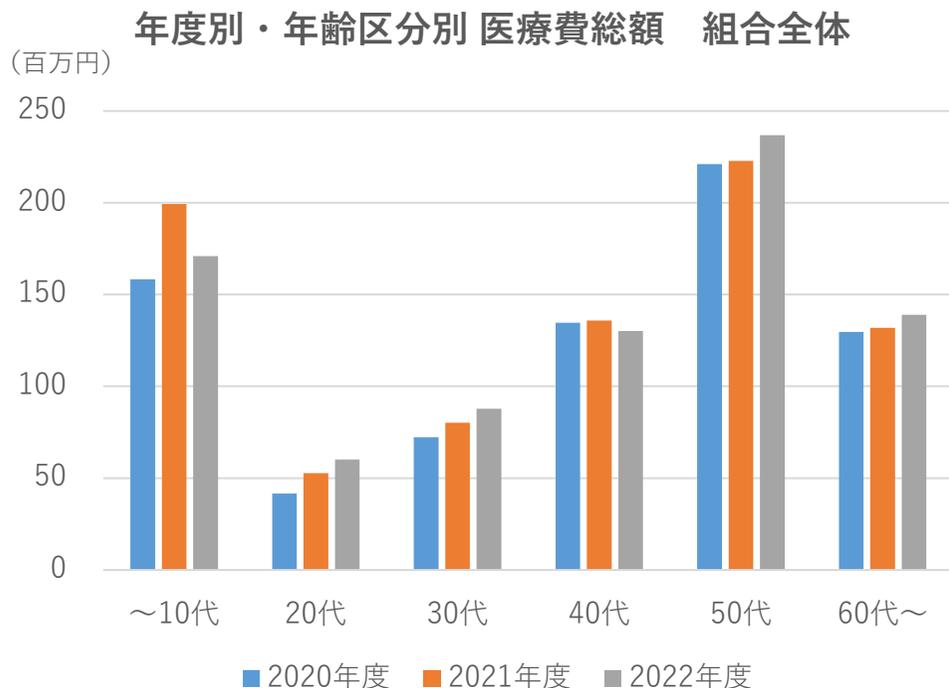


■ 年齢区分別 加入者構成

年齢区分	人数	割合
~20代	438	17.0%
30代	526	20.4%
40代	672	26.1%
50代	687	26.6%
60代~	256	9.9%

データ分析 年度別・年齢区分別 医療費総額／一人当たり医療費

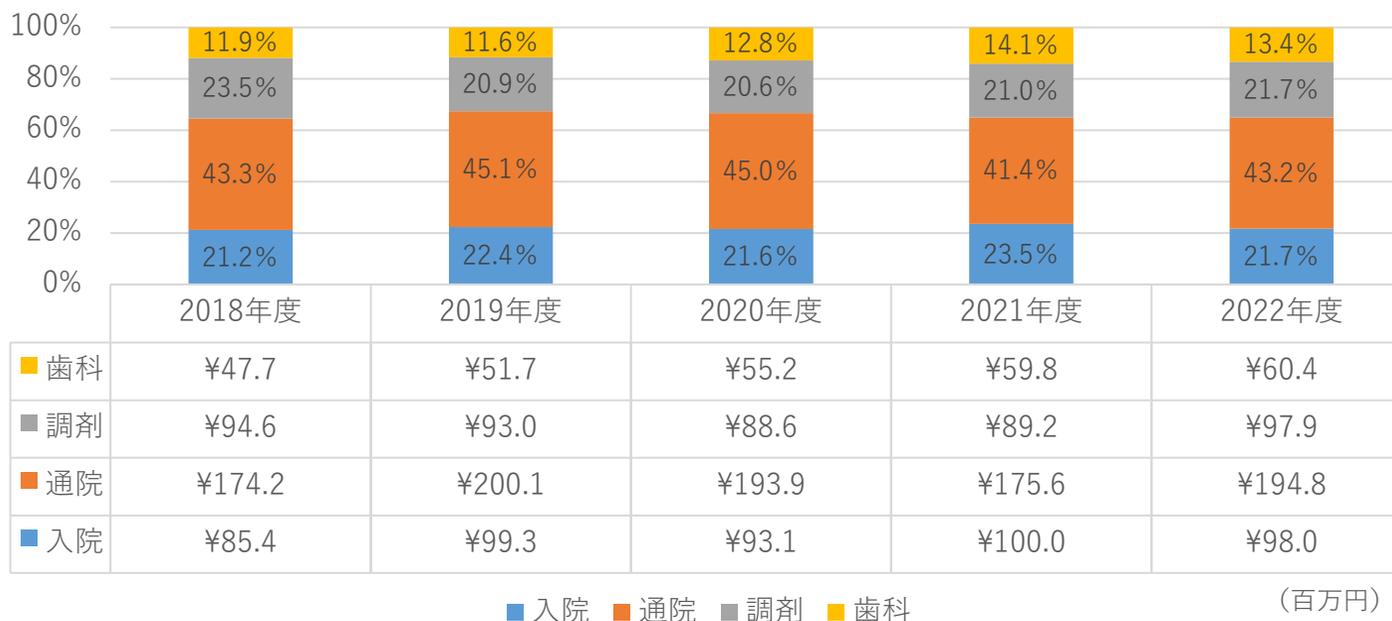
- 医療費総額は50代と10代以下が大きい。
- 一人当たり医療費は20代で一旦落ちるが年齢層が上がる毎に再び上昇。特に50代以降の伸びが大きい。
- 一人当たり医療費は10代以下、50代を除き毎年上昇している。



データ分析 レセプト分類別 医療費構成（歯科、調剤、通院、入院）

- すべてのレセプト分類で医療費が増加傾向にある。
- 通院の医療費総額が最も高く、次いで入院、調剤、歯科の順となっている。
- 2021年度には通院の医療費総額が減少したが、2022年度には再び増加した。

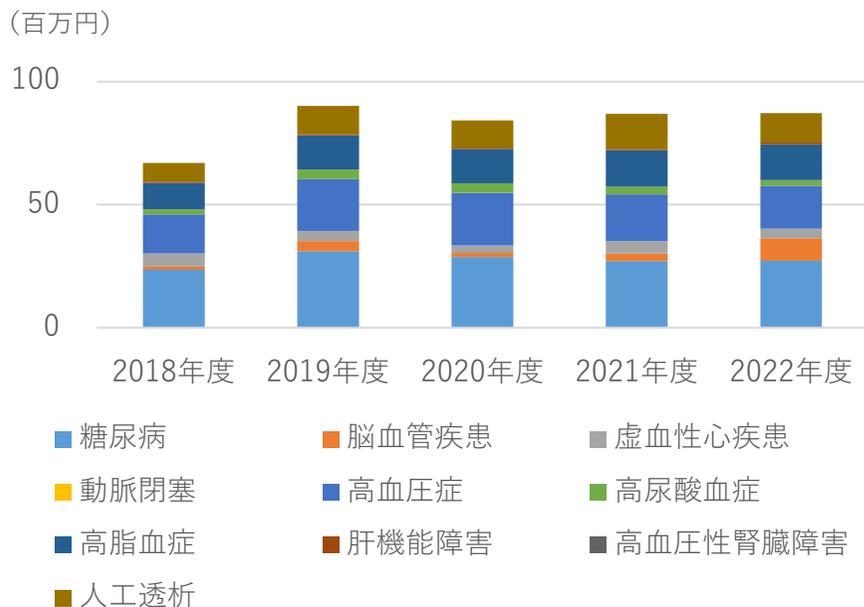
年度別・レセプト分類別 医療費構成（歯科、調剤、通院、入院） 被保険者



データ分析 生活習慣病別 医療費

- 2022年度に脳血管疾患の医療費が増えているが、患者数は減少している。
- 脳血管疾患を除く疾患の患者数は増加傾向にある。
- 特に糖尿病、高血圧症、高脂血症はほかの疾患に比べ患者数が多い。

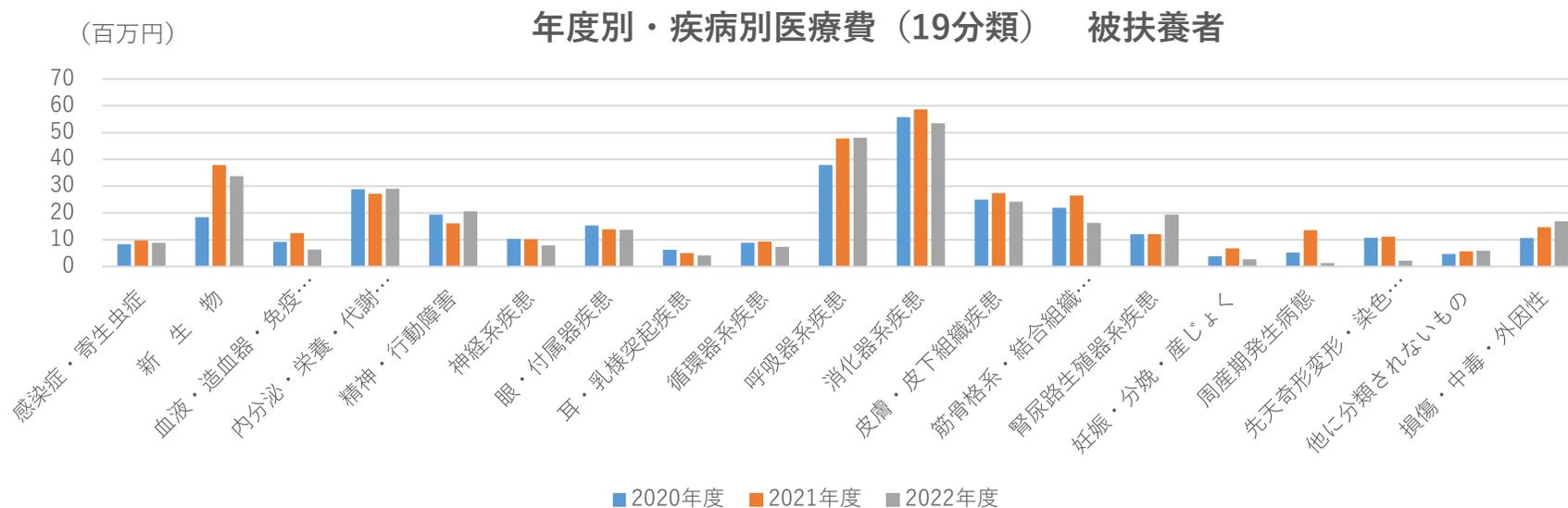
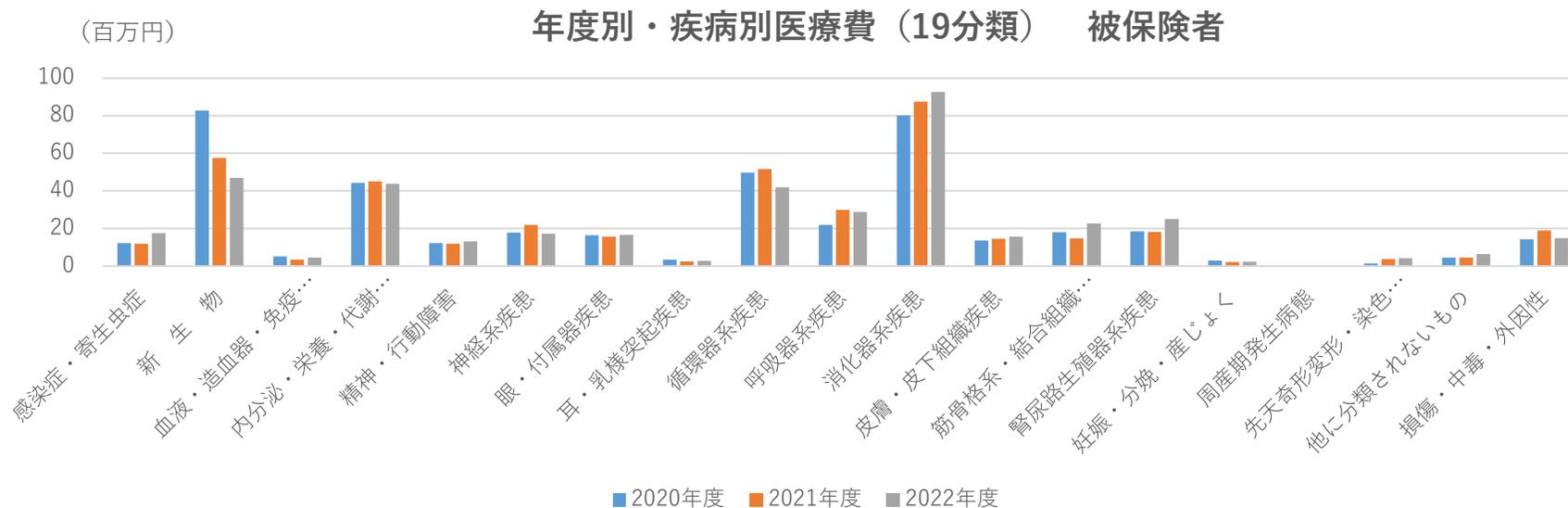
年度別・生活習慣病別 医療費 組合全体



年度別・生活習慣病別 患者数 組合全体

疾病名	(人)					(%)
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018-2022年度比
糖尿病	543	609	641	674	703	129.5%
脳血管疾患	58	56	58	71	52	89.7%
虚血性心疾患	113	141	119	129	149	131.9%
動脈閉塞	0	0	0	0	0	#N/A
高血圧症	481	503	529	529	544	113.1%
高尿酸血症	191	211	224	236	254	133.0%
高脂血症	597	649	723	769	780	130.7%
肝機能障害	128	131	157	174	180	140.6%
高血圧性腎臓障害	2	3	2	4	6	300.0%
人工透析	2	2	3	3	3	150.0%

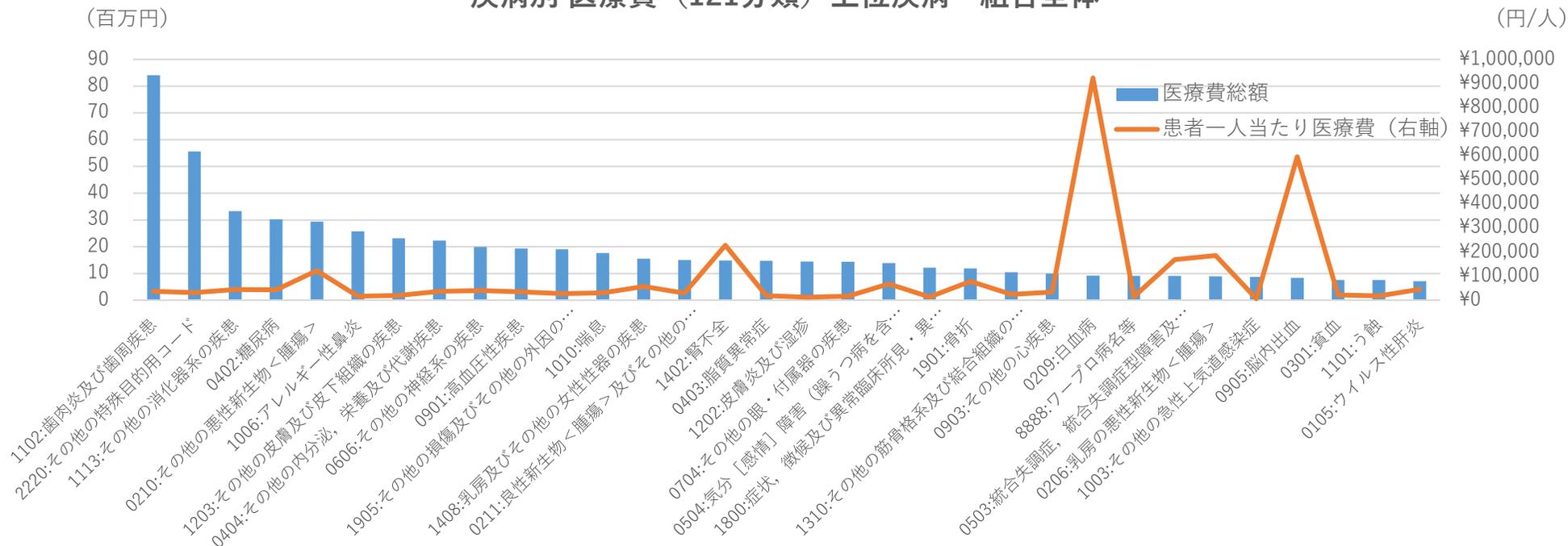
データ分析 疾病大項目の19分類



データ分析 上位疾病

- 医療費総額は歯科関連疾患（歯肉炎・歯周病）が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。
- 白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。
- 医療費総額の第2位の「2220:その他の特殊目的用コード」は新型コロナ関連である。

疾病別 医療費（121分類）上位疾病 組合全体



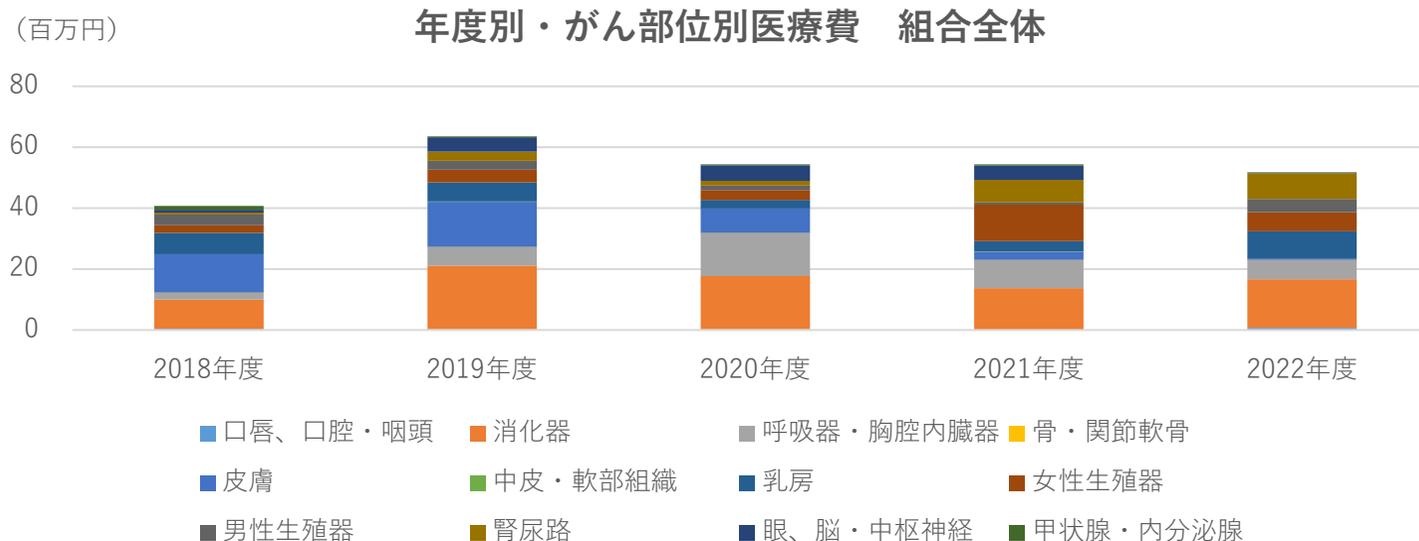
データ分析 上位疾病（続き）

疾病別 医療費（121分類） 上位疾病 組合全体

(円) (人) (円/人)

121分類	医療費総額	人数	患者一人 当たり 医療費	121分類	医療費総額	人数	患者一人 当たり 医療費
1102:歯肉炎及び歯周疾患	84,100,120	2,262	37,180	1202:皮膚炎及び湿疹	14,499,750	1,160	12,500
2220:その他の特殊目的用コード	55,622,350	1,771	31,407	0704:その他の眼・付属器の疾患	14,328,680	851	16,837
1113:その他の消化器系の疾患	33,281,420	748	44,494	0504:気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	13,865,730	205	67,638
0402:糖尿病	30,246,150	703	43,024	1800:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,180,340	910	13,385
0210:その他の悪性新生物<腫瘍>	29,365,480	239	122,868	1901:骨折	11,877,680	152	78,143
1006:アレルギー性鼻炎	25,779,130	1,540	16,740	1310:その他の筋骨格系及び結合組織の障害	10,451,380	440	23,753
1203:その他の皮膚及び皮下組織の疾患	23,174,420	1,130	20,508	0903:その他の心疾患	9,966,450	298	33,444
0404:その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	22,267,180	604	36,866	0209:白血病	9,225,080	10	922,508
0606:その他の神経系の疾患	19,944,050	501	39,808	8888:ワープロ病名等	9,127,460	617	14,793
0901:高血圧性疾患	19,327,120	548	35,268	0503:統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,082,990	54	168,204
1905:その他の損傷及びその他の外因の影響	19,076,640	691	27,607	0206:乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,892,100	48	185,252
1010:喘息	17,646,070	568	31,067	1003:その他の急性上気道感染症	8,687,340	1,376	6,313
1408:乳房及びその他の女性性器の疾患	15,517,820	271	57,261	0905:脳内出血	8,343,180	14	595,941
0211:良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	15,066,530	516	29,199	0301:貧血	7,619,910	345	22,087
1402:腎不全	14,839,360	65	228,298	1101:う蝕	7,609,910	414	18,381
0403:脂質異常症	14,786,040	794	18,622	0105:ウイルス性肝炎	7,088,410	156	45,439

データ分析 がん

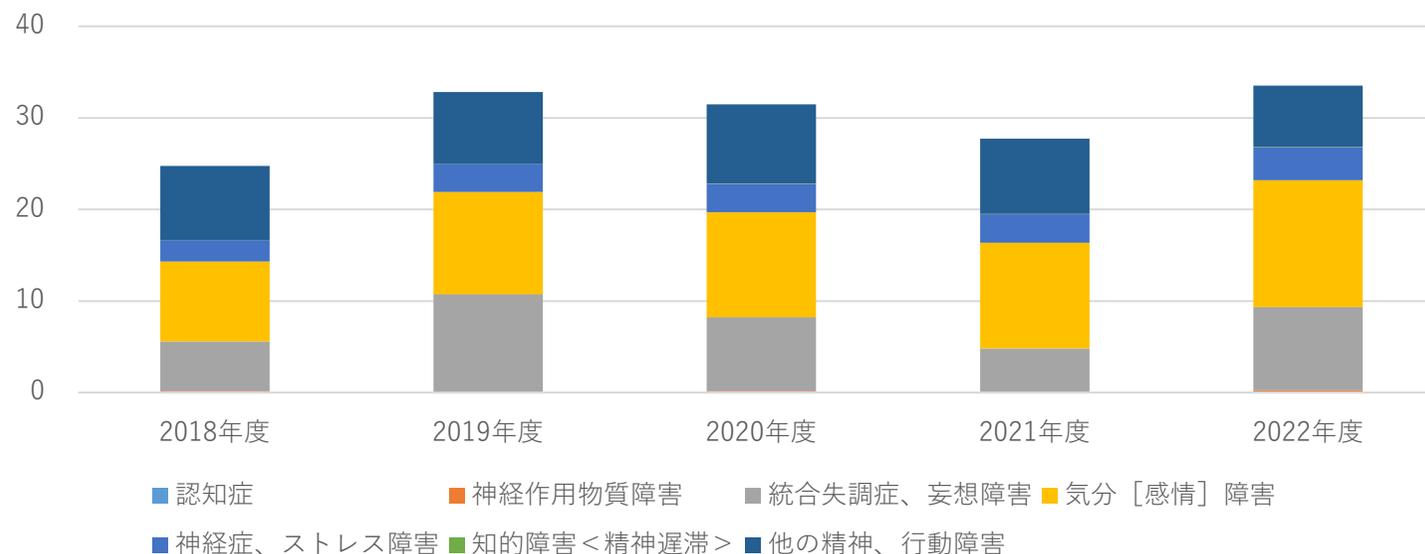


年度別・がん部位別人数 組合全体 (人) (%)

新生物 部位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018-2022年度比
口唇、口腔・咽頭	4	4	5	2	4	100.0%
消化器	241	254	259	266	281	116.6%
呼吸器・胸腔内臓器	73	64	64	59	68	93.2%
骨・関節軟骨	2	1	1	1	2	100.0%
皮膚	9	7	5	10	7	77.8%
中皮・軟部組織	1	2	2	3	2	200.0%
乳房	44	38	44	47	48	109.1%
女性生殖器	67	81	80	86	88	131.3%
男性生殖器	38	41	39	47	51	134.2%
腎尿路	34	38	30	45	41	120.6%
眼、脳・中枢神経	1	2	2	3	2	200.0%
甲状腺・内分泌腺	21	21	19	20	19	90.5%

データ分析 メンタル

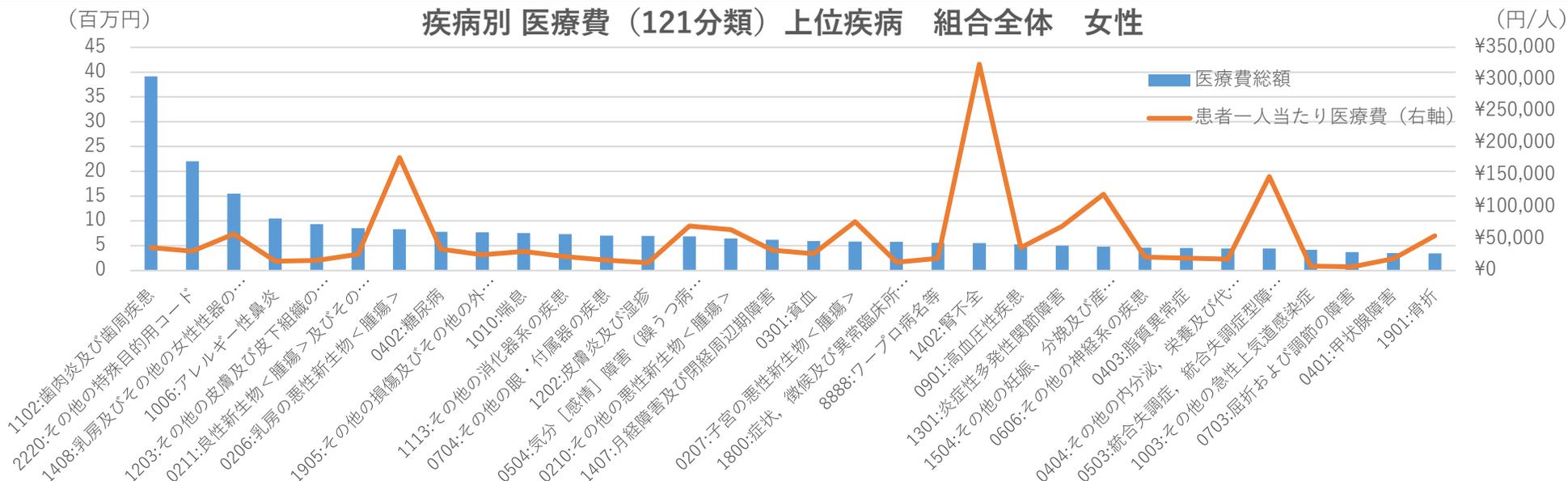
(百万円) 年度別・メンタル系医療費 (うつ、統合失調症、不安障害) 組合全体



年度別・メンタル系患者数 (うつ、統合失調症、不安障害) 組合全体
(人) (%)

疾病名	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018-2022年度比 (%)
認知症	1	2	2	0	0	0.0%
神経作用物質障害	6	5	5	2	5	83.3%
統合失調症、妄想障害	48	56	53	63	54	112.5%
気分 [感情] 障害	141	153	170	170	205	145.4%
神経症、ストレス障害	172	216	220	235	250	145.3%
知的障害 <精神遅滞>	1	6	7	5	8	800.0%
他の精神、行動障害	78	101	107	113	115	147.4%

データ分析 婦人科系疾患



121分類	医療費総額	人数	患者一人当たり医療費
1102:歯肉炎及び歯周疾患	39,156,080	1,087	36,022
2220:その他の特殊目的用コード	22,026,790	730	30,174
1408:乳房及びその他の女性性器の疾患	15,517,820	271	57,261
1006:アレルギー性鼻炎	10,484,820	723	14,502
1203:その他の皮膚及び皮下組織の疾患	9,352,920	587	15,933
0211:良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	8,529,780	338	25,236
0206:乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,315,700	47	176,930
0402:糖尿病	7,782,260	233	33,400
1905:その他の損傷及びその他の外因の影響	7,676,220	310	24,762
1010:喘息	7,554,380	254	29,742
1113:その他の消化器系の疾患	7,350,700	335	21,942
0704:その他の眼・付属器の疾患	7,025,980	440	15,968
1202:皮膚炎及び湿疹	6,942,220	570	12,179
0504:気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	6,840,460	98	69,801
0210:その他の悪性新生物<腫瘍>	6,459,610	101	63,957
1407:月経障害及び閉経周辺期障害	6,202,500	195	31,808

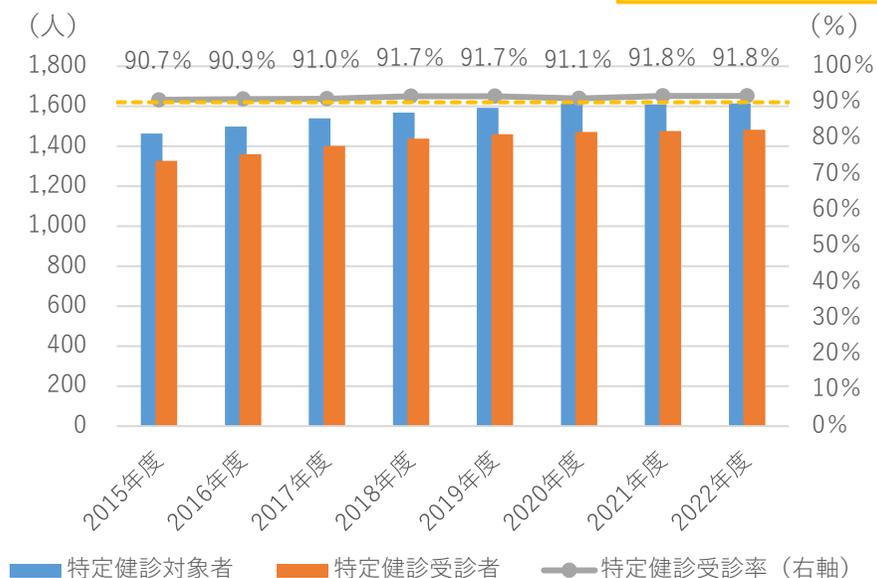
121分類	医療費総額	人数	患者一人当たり医療費
0301:貧血	5,932,090	226	26,248
0207:子宮の悪性新生物<腫瘍>	5,825,600	76	76,653
1800:症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,794,050	450	12,876
8888:ワープロ病名等	5,569,330	294	18,943
1402:腎不全	5,504,420	17	323,789
0901:高血圧性疾患	5,243,770	146	35,916
1301:炎症性多発性関節障害	4,974,090	72	69,085
1504:その他の妊娠、分娩及び産じょく	4,786,030	40	119,651
0606:その他の神経系の疾患	4,600,120	220	20,910
0403:脂質異常症	4,528,390	233	19,435
0404:その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	4,441,390	251	17,695
0503:統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	4,425,170	30	147,506
1003:その他の急性上気道感染症	4,164,150	609	6,838
0703:屈折および調節の障害	3,712,110	675	5,499
0401:甲状腺障害	3,504,630	188	18,642
1901:骨折	3,437,980	63	54,571

データ分析 特定健診受診率

- 被保険者の特定健診受診率は2015年度から2022年度まで全て90%以上で目標を満たしている。
- 被扶養者の特定健診受診率は2015年度から2022年度まで全て90%未満で目標を満たしていない。
- 被保険者と比べて被扶養者の受診率が低い。

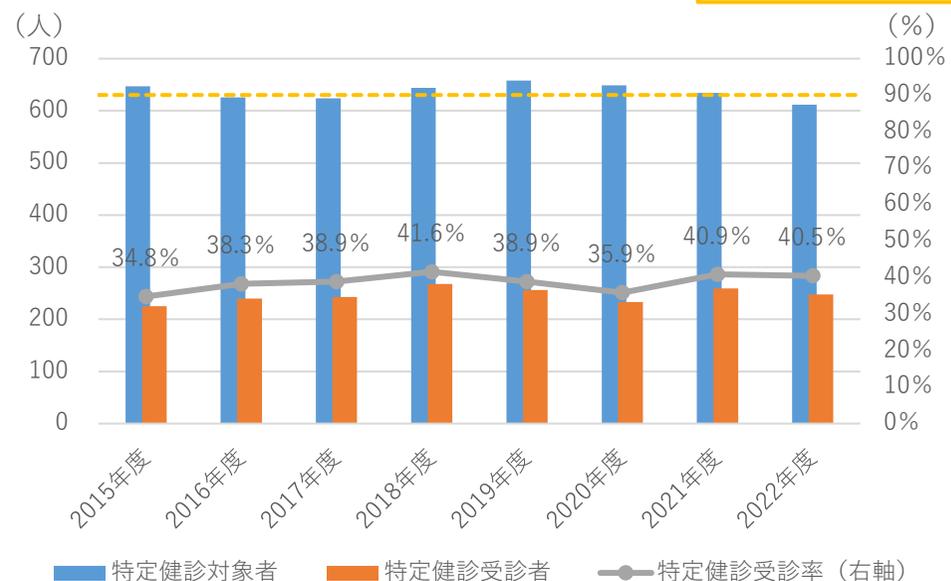
年度別 特定健診受診率 被保険者

単一健保目標値：90%



年度別 特定健診受診率 被扶養者

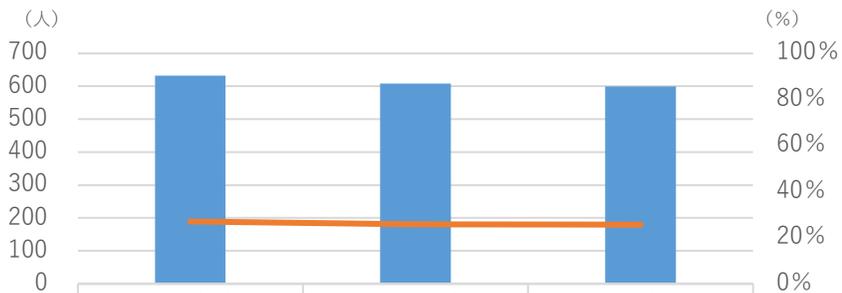
単一健保目標値：90%



データ分析 問診回答別の傾向

問診回答 喫煙

<被保険者>喫煙率の推移

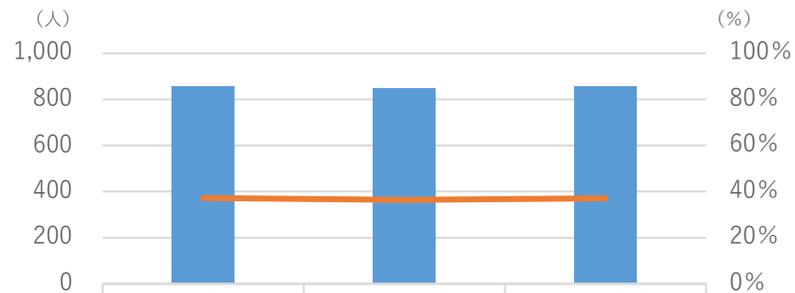


項目	2020年度	2021年度	2022年度
喫煙者数	632人	608人	599人
喫煙率 (右軸)	27.1%	25.8%	25.7%

■ 喫煙者数 — 喫煙率 (右軸)

問診回答 体重

<被保険者>20歳の時から10kg以上の体重の増加

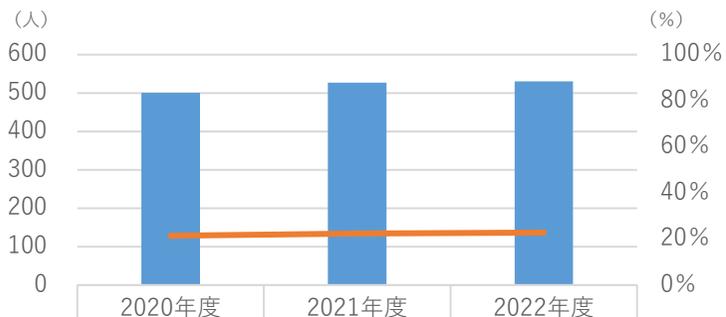


項目	2020年度	2021年度	2022年度
体重増加人数	857人	849人	857人
体重増加者率 (右軸)	37.2%	36.4%	37.1%

■ 体重増加人数 — 体重増加者率 (右軸)

問診回答 運動

<被保険者>1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施

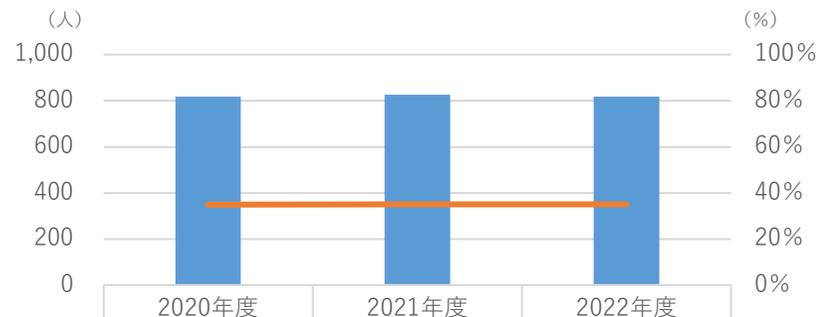


項目	2020年度	2021年度	2022年度
運動習慣あり人数	501人	527人	531人
運動習慣あり割合 (右軸)	21.5%	22.4%	22.8%

■ 運動習慣あり人数 — 運動習慣あり割合 (右軸)

問診回答 食事

<被保険者>人と比較して食べる速度が速い



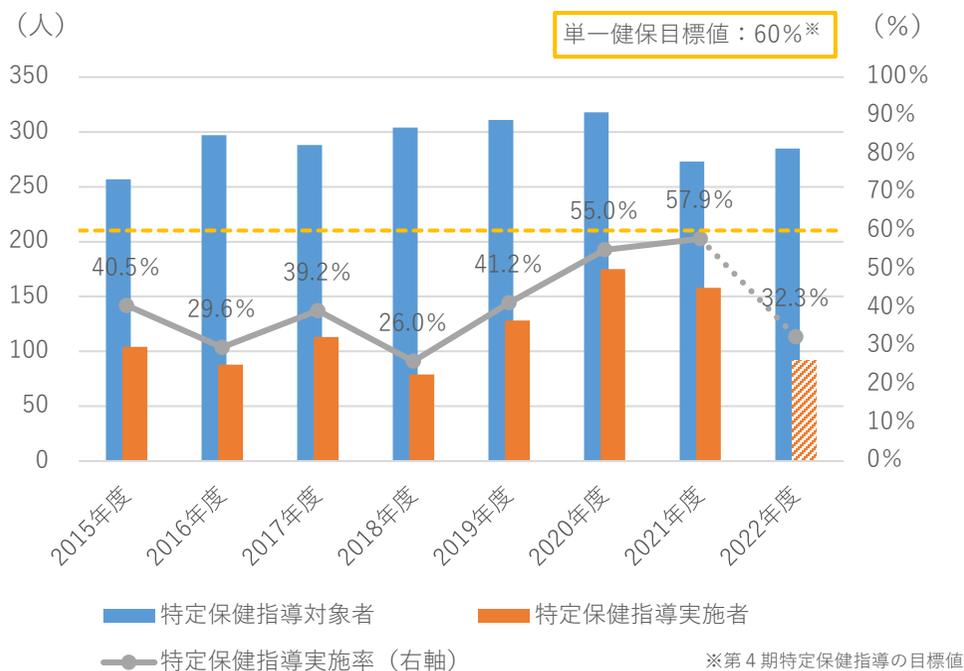
項目	2020年度	2021年度	2022年度
早食い人数	819人	827人	819人
早食い割合 (右軸)	35.1%	35.2%	35.2%

■ 早食い人数 — 早食い割合 (右軸)

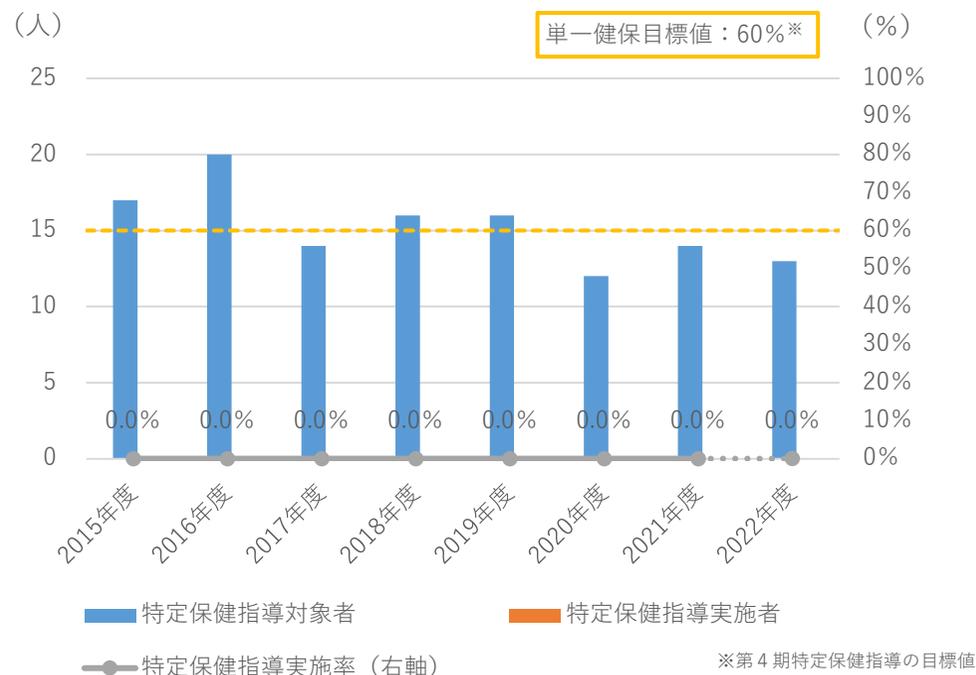
データ分析 特定保健指導実施率

- 被保険者の特定保健指導実施率は2018年度から上昇傾向であるが、目標値の60%にはまだ達していない。
- 被扶養者の特定保健指導実施率は2015年度から2022年度まで全て0%である。

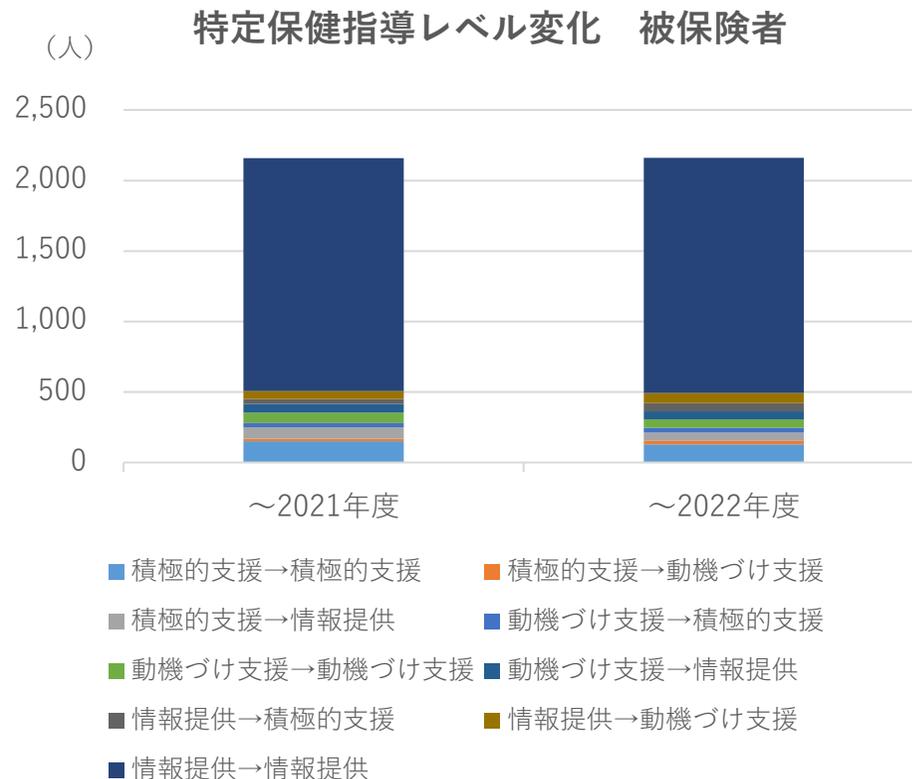
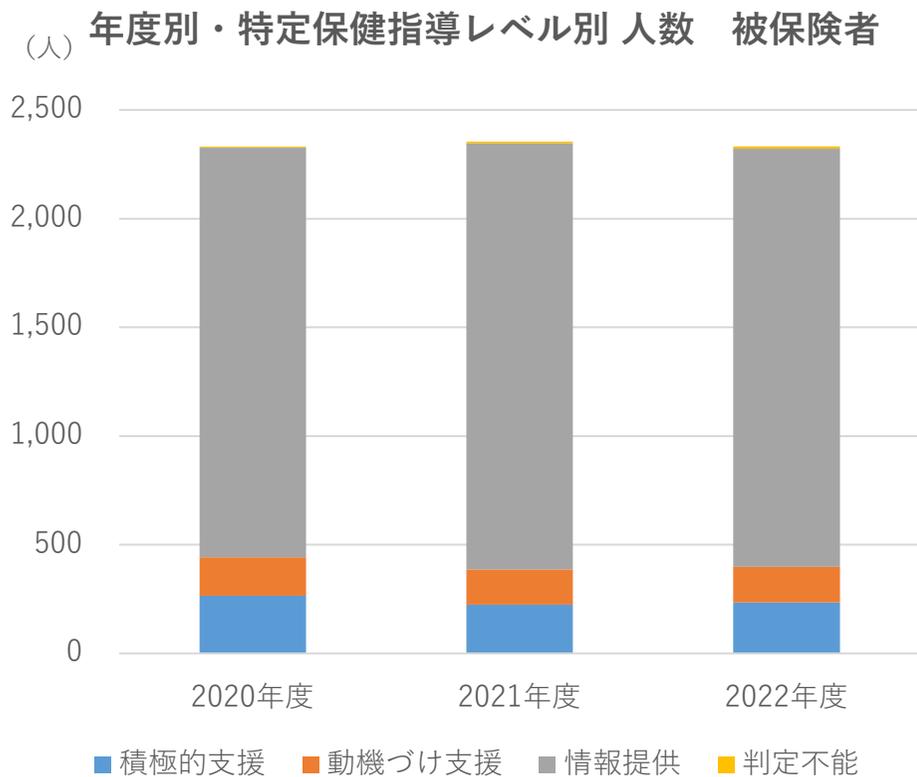
年度別 特定保健指導実施率 被保険者



年度別 特定保健指導実施率 被扶養者



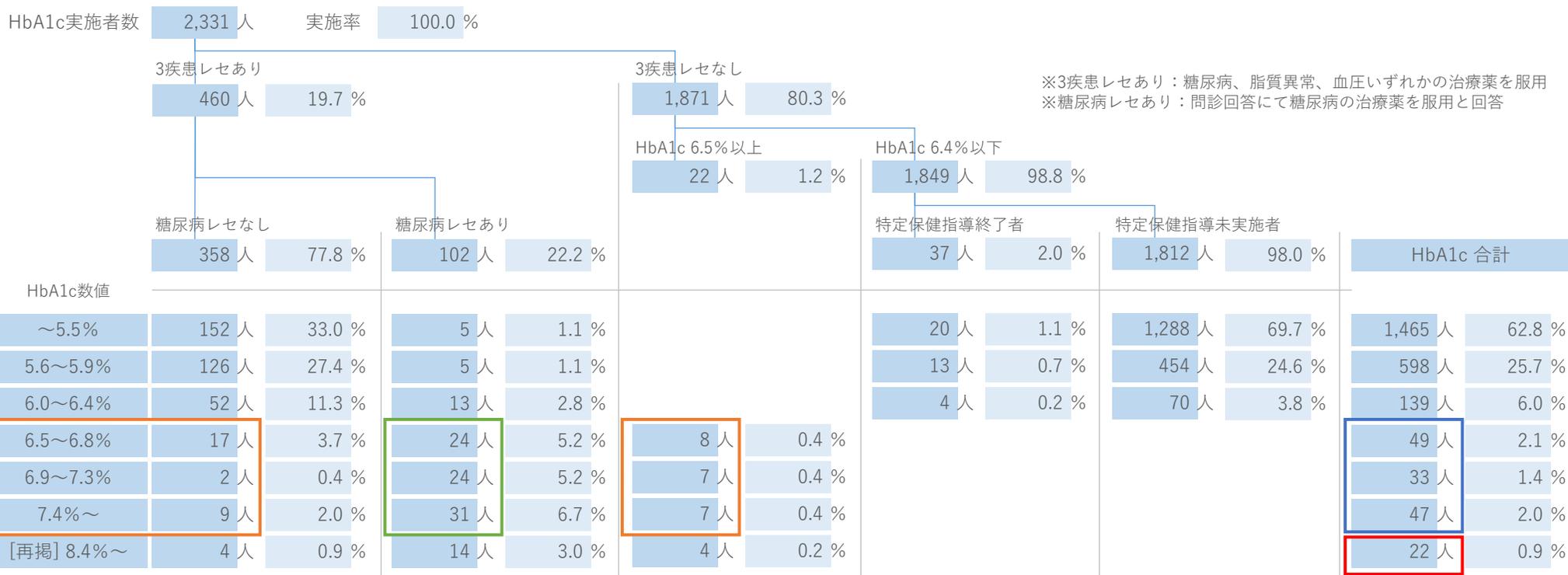
データ分析 特定保健指導レベル別人数



データ分析 リスクフローチャート（糖尿病）

- HbA1cが6.5%以上の加入者129人の内、79人（61.2%）が治療中である。一方、治療していない加入者が50人（38.8%）いる。
- 糖尿病合併症が進行しやすいHbA1c8.4以上の加入者が22人いる。

リスクフローチャート（糖尿病） 被保険者



データ分析 CKDマップ（慢性腎臓病）

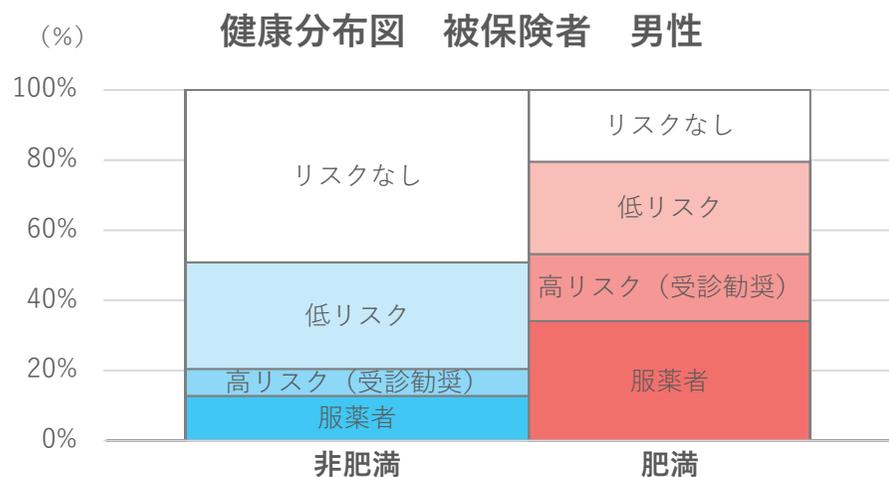
- 受診勧奨判定値の該当者は33人。これは受診者1529人中の約2.2%。
- 保健指導判定値の該当者は186人存在。このうち、要注意とされる、GFR区分がG3aで、尿蛋白が（±）および（-）の該当者は127人（保健指導判定値該当者の68.2%）。

CKDマップ（慢性腎臓病） 被保険者

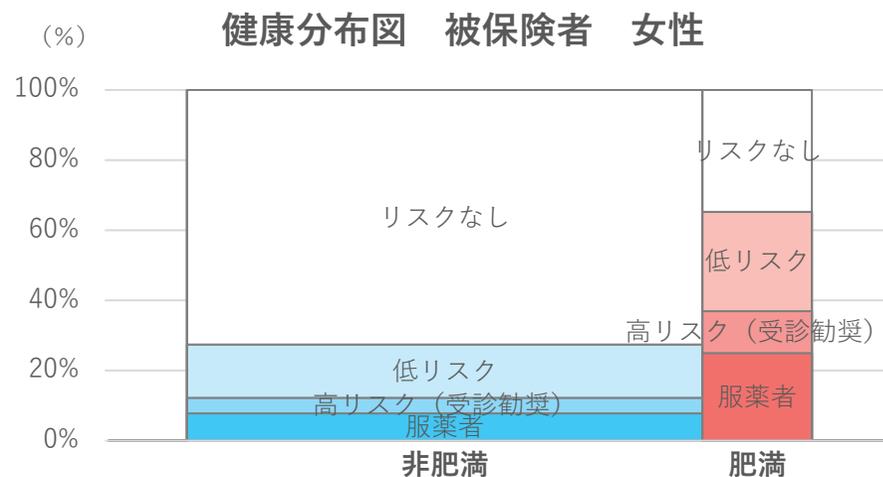
		GFR区分 (mL/分/1.73m ²)					
		G1	G2	G3 a	G3 b	G4	G5
		正常または 高値	正常または 軽度低下	軽度～ 中等度低下	中等度～ 高度低下	高度低下	末期腎不全
尿蛋白		≥90	60～89	45～59	30～44	15～29	<15
尿蛋白 (+) 以上	人数	3	20	2	1	1	0
	割合	0.2%	1.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
尿蛋白 (±)	人数	14	45	5	2	0	0
	割合	0.9%	2.9%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%
尿蛋白 (-)	人数	320	990	122	4	0	0
	割合	20.9%	64.7%	8.0%	0.3%	0.0%	0.0%

データ分析 BMI判定分布（健康分布図）

- 男性の肥満該当のうち、リスク保有者（低リスクと高リスク）は約45%いる。非肥満でもリスク保有者は約38%いる。
- 女性では、肥満該当のうちリスク保有者は約40%いる。非肥満該当でもリスク保有者は約20%いる。



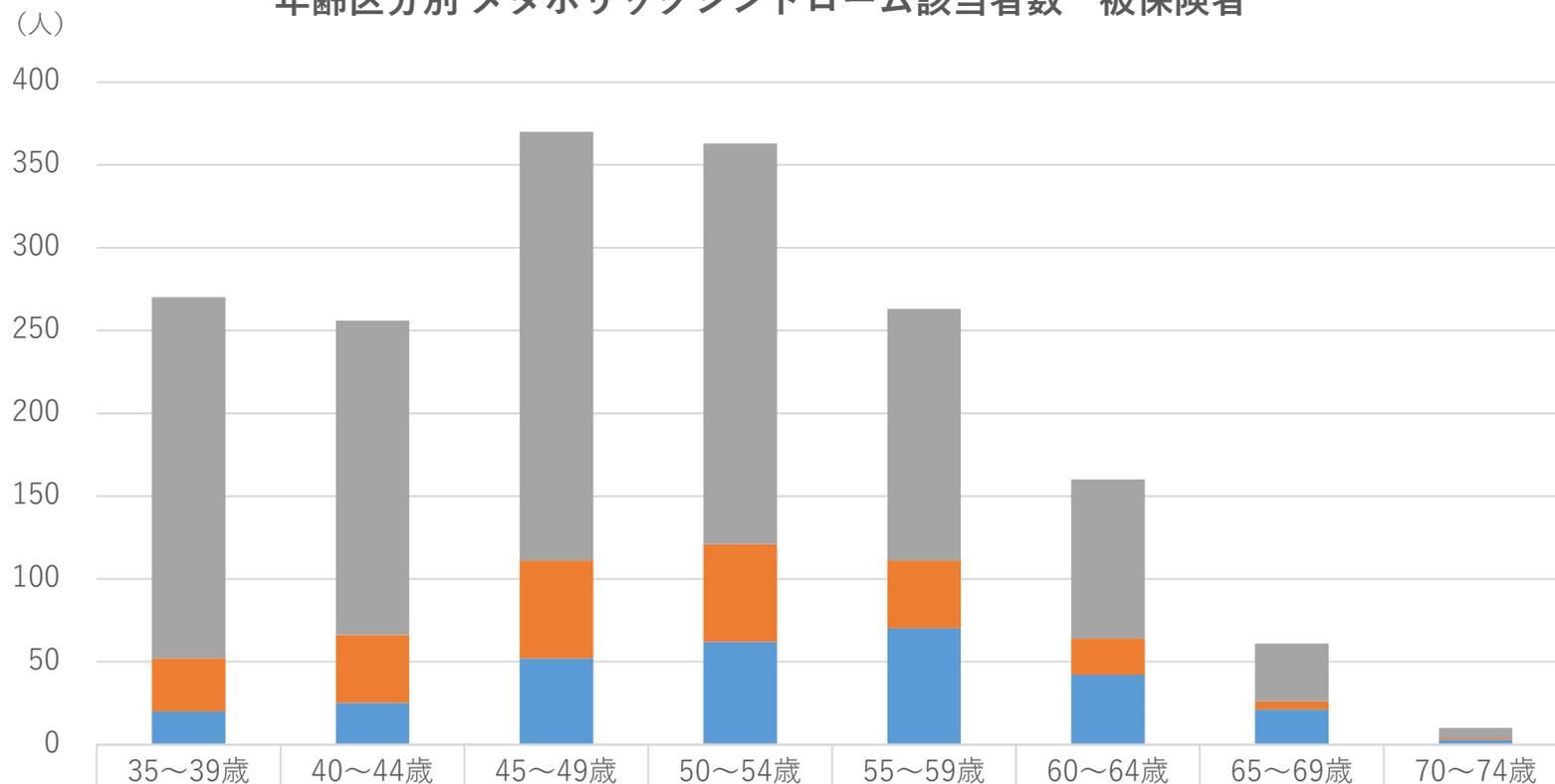
リスク区分	非肥満	肥満
リスクなし	49.1%	20.5%
低リスク	30.4%	26.3%
高リスク (受診勧奨)	7.7%	19.1%
服薬者	12.8%	34.1%
合計	100.0%	100.0%



リスク区分	非肥満	肥満
リスクなし	72.6%	34.8%
低リスク	15.2%	28.3%
高リスク (受診勧奨)	4.4%	12.0%
服薬者	7.8%	25.0%
合計	100.0%	100.0%

データ分析 メタボリックシンドローム該当者数

年齢区分別 メタボリックシンドローム該当者数 被保険者



■ 非該当	218	190	259	242	152	96	35	6
■ 予備群該当	32	41	59	59	41	22	5	1
■ 該当	20	25	52	62	70	42	21	3

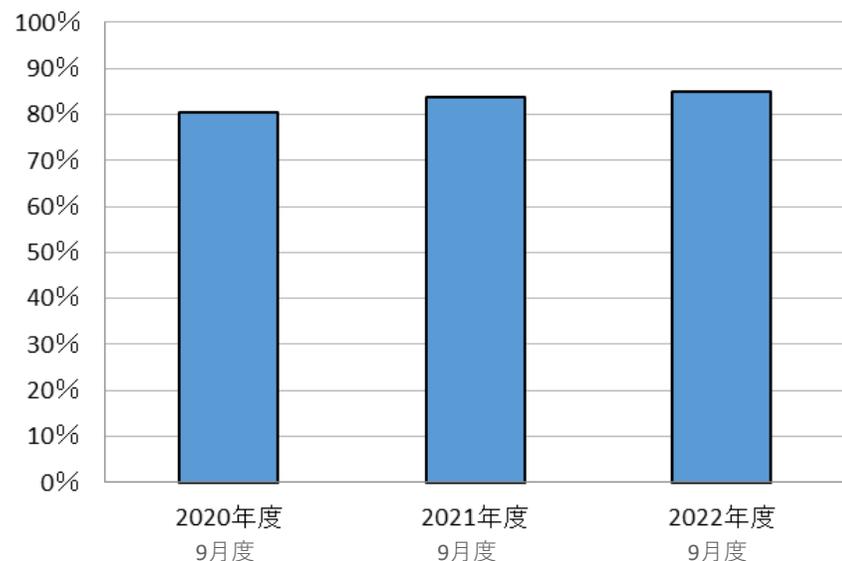
(人)

■ 該当 ■ 予備群該当 ■ 非該当

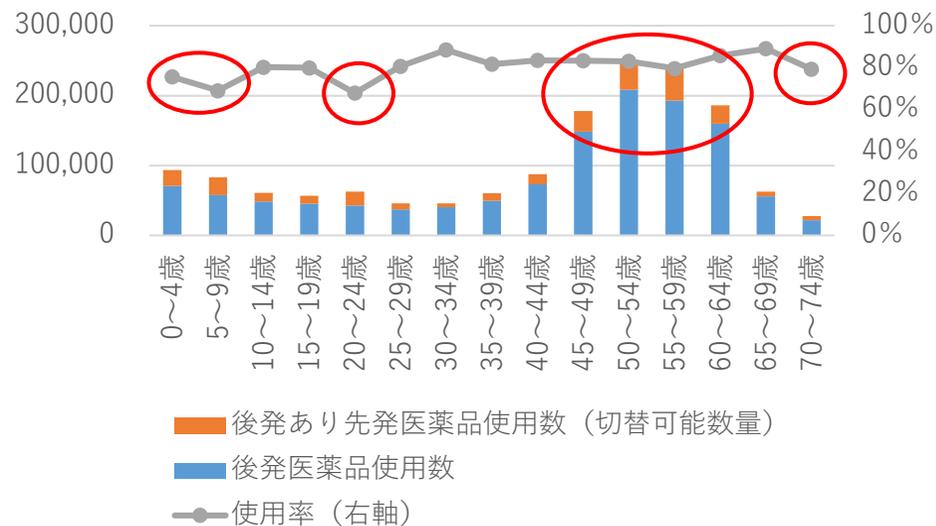
データ分析 後発医薬品の使用数、使用率

- 後発医薬品使用率の目標80%は達成している。使用率は増加傾向のため施策の効果があると評価。
- 0～4歳、5～9歳、20～24歳、70～74歳では後発医薬品の使用率は80%未達である。
- 45～64歳で「切替可能数量」が多い。

(%) 年度別 後発医薬品の使用率 組合全体



年齢区分別 後発医薬品の使用数 組合全体



※使用数量は調剤レセプトをもとに以下の式で計算
 使用数量 = 調剤情報レコードの [調剤数量] × 医薬品レコードの [使用量]
 ※2022年度のレセプト管理システムでの集計値

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ, ウ, ケ	一人当たり医療費は年齢層が上がる毎に上昇し、特に50代以降の伸びが大きい。また、すべてのレセプト分類で医療費が増加傾向にあり、通院の医療費総額が最も高く、次いで入院、調剤、歯科の順となっている。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 一人当たり医療費は年齢を増すほど増える傾向にある。今後、生活習慣病、がんを中心に医療費の高騰が想定されるので、自発的に健康づくりや生活習慣予防の取り組みを実施できるよう意識啓発が必要。 	
2	エ, セ	生活習慣病別の医療費において特に糖尿病、高血圧症、高脂血症は他の疾患比べて患者数が多い。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 全体への生活習慣病に関する意識啓発（情報提供等）が必要。 未治療者へは医療機関への早期受診を行ってもらうため、受診勧奨が必要。 	✓
3	オ, カ, キ, ケ, ソ, タ	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 広報媒体を利用して歯科・がんに関する情報提供が必要 婦人科系疾患の医療費が増加傾向にあることから、早期発見のため婦人科検診の補助金制度の見直しが必要。 	✓
4	コ, サ, ス	特定健診は被保険者と比べて被扶養者の受診率が低い。また、特定保健指導は上昇傾向にあるが、目標値の60%にはまだ達成していない。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者向けの受診率対策として受診啓発（情報提供等）が必要。 被保険者は事業主と協働（コラボヘルス）して、受診率維持。 特定保健指導の制度を周知し事業主と連携して実施率向上を図る。 	✓
5	セ, チ	男性の肥満該当のうち、リスク保有者は約45%いる。非肥満でもリスク保有者は約38%いる。女性では、肥満該当のうちリスク保有者は約40%いる。非肥満該当でもリスク保有者は約20%いる。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 若年層からの健康教育および保健指導実施率を高く維持 メタボ群への流入防止対策として、生活習慣改善支援策が必要 	
6	テ	後発医薬品使用率の目標80%は達成している。使用率は増加傾向のため、施策の効果があると評価する。 <ul style="list-style-type: none"> 0～4歳、5～9歳、20～24歳、70～74歳では、後発医薬品の使用率は80%未満。 45～64歳で「切替可能数量」が多い。 	➔	新規の加入者に対して、ジェネリック医薬品を希望する旨の意志表示をするため、健康保険証にジェネリックシールを貼り配布。また、啓発事業として対象者に医療費差額通知を配布し情報提供を実施。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 男性が約8割を占めており、うち被保険者は50～54歳が最も多い。 女性は45～49歳が最も多い。 事業所数は少ないが、拠点（支店等）が全国に点在している。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 年齢的にメタボ率が高くなる可能性があるため、メタボ率を上げない対策が必要。 事業所毎に特徴をとらえて、事業主との協働（コラボヘルス）が必要

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	加齢に伴う疾病により今後も医療費の増加が見込まれることから、生活習慣病の改善を通じて肥満や高血圧、高脂血症等の健康リスク保有者を減らしていくことが必要	➔	事業主と協働（コラボヘルス）し、各種健診・特定保健指導の実施率を向上させていくとともに、加入者の健康意識の醸成を図る。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
生活習慣病の改善を通じて健康リスク保有者の減少をさらに推進する。

事業全体の目標
特定健診受診率と特定保健指導実施率を目標値まで引き上げる。

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	健保ニュース
保健指導宣伝	健康冊子「すこやかファミリー」の配布
保健指導宣伝	健康保険制度・健康衛生パンフレット配布
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ホームページ管理運営
保健指導宣伝	「医療費通知」等
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品通知
疾病予防	人間ドック
疾病予防	健康診断補助金(婦人科健診含む)
疾病予防	肺ガン検診
疾病予防	脳ドック
疾病予防	巡回レディース健康診断
疾病予防	前期高齢者疾病予防費
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	常備薬補助金
疾病予防	重症化予防対策事業
疾病予防	動脈硬化予防検診
疾病予防	禁煙外来事業
疾病予防	マイヘルスキャンペーン
体育奨励	レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進事業
体育奨励	健康づくり事業
その他	契約保養所

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
保健指導宣伝	1	既存	健康管理事業推進委員会	全て	男女	25～(上限なし)	被保険者	1	ス	各職場ごとの健康管理に関する情報および知識等を広く被保険者等に周知し、保健事業の有効かつ円滑な実施を図るため、各事業所から健康管理委員(被保険者)を委嘱する。なお、健康管理委員に対しては、その資質の向上を図るため、定期的に研修、教育の機会を設ける。	ア,イ	各事業所の健康管理委員(被保険者)が集まり、被保険者及び被扶養者の健康対策と実施について検討する。	500	-	-	-	-	-	事業所担当者との情報共有	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													開催回数【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-							
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	健保ニュース	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ス	・健保組合の予算・決算の広報および保健事業をPR等 ・年2回(4.9月)の発行	シ	委託先：株式会社 法研	1,415	-	-	-	-	-	加入者への情報提供	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													発行回数【実績値】2回帯 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)・全加入員(世帯)に配布							
保健指導宣伝	2,5	既存	健康冊子「すこやかファミリー」の配布	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ス	年12回の配付。家庭の健康をバックアップする記事の提供。セルフメディケーション・セルフケアに役立つテーマを取り上げ、医療費節減や健診受診率の向上を多角的に支援する。	シ	委託先：株式会社 法研	8,040	-	-	-	-	-	加入員全体の情報提供	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													発行回数【実績値】12回帯 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)・全加入員(世帯)に配布							
保健指導宣伝	8	既存	健康保険制度・健康衛生パンフレット配布	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ス	健康保険制度・健康衛生全般についての情報誌配布。	シ	委託先：株式会社 法研、株式会社 社会保険出版社、株式会社サンライフ企画	402	-	-	-	-	-	加入者への情報提供。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													発行回数【実績値】1回帯 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)・対象者に配布							
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査	全て	男女	40～74	被扶養者、任意継続者	1	ス	被扶養者は、健康保険組合から年度当初に送付している「特定健康診査受診券」にて居住地の特定健康診査受診可能な健診機関により受診する。	ア,シ	契約健診機関及び巡回レディース健診などで実施	3,194	-	-	-	-	-	健康リスクの早期発見	特定健診は被保険者と比べて被扶養者の受診率が低い。また、特定保健指導は上昇傾向にあるが、目標値の60%にはまだ達成していない。
													実施者数【実績値】 - 【目標値】令和6年度：300人 令和7年度：310人 令和8年度：330人 令和9年度：350人 令和10年度：380人 令和11年度：400人)-							
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者	1	オ,ケ,ス	被保険者については、保健指導を行える機関に委託し事業内で行う。被扶養者については、保健指導を行える機関に委託し指定会場来所または家庭訪問で行う。	ア,ウ	委託先：SOMPOリスクマネジメント(株)	6,262	-	-	-	-	-	メタボリックシンドロームの改善	特定健診は被保険者と比べて被扶養者の受診率が低い。また、特定保健指導は上昇傾向にあるが、目標値の60%にはまだ達成していない。
													実施者数【実績値】120人 【目標値】令和6年度：121人 令和7年度：136人 令和8年度：152人 令和9年度：168人 令和10年度：177人 令和11年度：186人)-							
												380	-	-	-	-	-			

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連										
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画															
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度								
保健指導宣伝	8	既存	ホームページ管理運営	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,ス	個人向けポータルサイトもホームページからアクセスしやすくしている。	シ	事務の効率化を図るため、法制度や事務手続きの情報をHPに掲載する。	ホームページでの情報提供	ホームページでの情報提供	ホームページでの情報提供	ホームページでの情報提供	ホームページでの情報提供	ホームページでの情報提供	情報提供	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)								
													更新回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-											本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)				
													1,584	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一人当たり医療費は年齢層が上がる毎に上昇し、特に50代以降の伸びが大きい。また、すべてのレセプト分類で医療費が増加傾向にあり、通院の医療費総額が最も高く、次いで入院、調剤、歯科の順となっている。				
2	既存	「医療費通知等」	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,ス	月次医療費通知はWEBで配信	シ	高額/頻回/重複受診の医療費抑制	医療費通知は毎月定期的なWEB配信	医療費通知は毎月定期的なWEB配信	医療費通知は毎月定期的なWEB配信	医療費通知は毎月定期的なWEB配信	医療費通知は毎月定期的なWEB配信	医療費通知は毎月定期的なWEB配信	医療費に関する意識向上	一人当たり医療費は年齢層が上がる毎に上昇し、特に50代以降の伸びが大きい。また、すべてのレセプト分類で医療費が増加傾向にあり、通院の医療費総額が最も高く、次いで入院、調剤、歯科の順となっている。									
												Web通知更新数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-											加入者への意識付け等は測定困難なため(アウトカムは設定されていません)					
												436	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	後発医薬品使用率の目標80%は達成している。使用率は増加傾向のため、施策の効果があると評価する。 ・0～4歳、5～9歳、20～24歳、70～74歳では、後発医薬品の使用率は80%未満。 ・45～64歳で「切替可能数量」が多い。					
2,7	既存	ジェネリック医薬品通知	全て	男女	16～74	基準該当者	1	エ,キ	個人向けポータルサイトに毎月更新掲載している。また、該当者を選別し自宅へ差額通知書を郵送している。	シ	委託先：株式会社 法研	差額通知の送付、切替効果測定の実施	差額通知の送付、切替効果測定の実施	差額通知の送付、切替効果測定の実施	差額通知の送付、切替効果測定の実施	差額通知の送付、切替効果測定の実施	差額通知の送付、切替効果測定の実施	医療費の適正化	後発医薬品使用率の目標80%は達成している。使用率は増加傾向のため、施策の効果があると評価する。 ・0～4歳、5～9歳、20～24歳、70～74歳では、後発医薬品の使用率は80%未満。 ・45～64歳で「切替可能数量」が多い。									
												差額通知配布(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-											ジェネリック医薬品使用率(【実績値】70% 【目標値】令和6年度：71% 令和7年度：73% 令和8年度：75% 令和9年度：77% 令和10年度：78% 令和11年度：80%)-					
												436	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	後発医薬品使用率の目標80%は達成している。使用率は増加傾向のため、施策の効果があると評価する。 ・0～4歳、5～9歳、20～24歳、70～74歳では、後発医薬品の使用率は80%未満。 ・45～64歳で「切替可能数量」が多い。					
3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	加入者全員	1	ス	35歳以上の被保険者および被扶養者について、健保組合が委託する事務代行機関を利用した場合に補助をする。	シ	委託先：(株)健康プラザ	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	健康リスクの早期発見	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。									
												受診者数(【実績値】620人 【目標値】令和6年度：630人 令和7年度：650人 令和8年度：680人 令和9年度：700人 令和10年度：710人 令和11年度：750人)-											受診率(【実績値】23% 【目標値】令和6年度：25% 令和7年度：28% 令和8年度：29% 令和9年度：30% 令和10年度：32% 令和11年度：35%)・受診者の健康維持					
												31,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。					
2,3	既存	健康診断補助金(婦人科健診含む)	全て	女性	16～74	加入者全員	1	ス	・婦人科検診は、人間ドック等と同時受診も含めて上限10,000円まで補助 ・特定健診受診者が補助対象項目を受診した場合は上限15,000円まで補助 ・定期健診受診者が補助対象項目を受診した場合は全額健保負担	シ	契約健診機関、契約外機関も対象	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	健康リスクの早期発見	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。									
												受診者数(【実績値】2,000人 【目標値】令和6年度：2,100人 令和7年度：2,200人 令和8年度：2,300人 令和9年度：2,400人 令和10年度：2,500人 令和11年度：2,500人)-											本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)					
												17,014	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。					
2,3	既存	肺ガン検診	全て	男女	30～74	被保険者	1	ウ,ス	事業所へ検診車を配車して実施。駐車スペースの確保ができない事業所については健診代行機関が契約する医療機関で受診。	シ	健診代行機関：(株)健康プラザ 検診車委託先：(財団)産業保健研究財団	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	肺疾患の早期発見	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。									
												受診数(【実績値】400人 【目標値】令和6年度：400人 令和7年度：410人 令和8年度：410人 令和9年度：420人 令和10年度：420人 令和11年度：430人)-											現時点では本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)					
												6,187	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。					
2,3	既存	脳ドック	全て	男女	40～74	被保険者	1	ウ,ス	事業所へ検診車を配車して実施。駐車スペースの確保ができない事業所については健診代行機関が契約する医療機関で受診。	シ	健診代行機関：(株)健康プラザ 検診車委託先：(財団)産業保健研究財団	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	基本的に前年度実施状況を評価し、継続(必要に応じて見直しを実施)	脳疾患の早期発見	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。									
												受診数(【実績値】400人 【目標値】令和6年度：400人 令和7年度：410人 令和8年度：410人 令和9年度：420人 令和10年度：420人 令和11年度：430人)-											現時点では本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)					
												8,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。					

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
受診数(【実績値】230人 【目標値】令和6年度：230人 令和7年度：235人 令和8年度：235人 令和9年度：240人 令和10年度：245人 令和11年度：250人)-												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
3	既存	巡回レディース健康診断	全て	女性	30～74	被扶養者,任意継続者	1	ウ,ス	30歳以上の被扶養者および任継被保険者に、一般社団法人全国健康増進協議会が実施している健診事業をご案内し受診勧奨している。	ク,シ	委託先：(社団) 全国健康増進協議会	4,406	-	-	-	-	-	健康リスクの早期発見	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。					
受診数(【実績値】100人 【目標値】令和6年度：100人 令和7年度：110人 令和8年度：120人 令和9年度：150人 令和10年度：180人 令和11年度：200人)-												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
2,4	既存	前期高齢者疾病予防費	全て	男女	63～73	基準該当者	1	ス	高齢者を対象に保健師による電話での保健指導	ク,シ	委託先：株式会社 法研	979	-	-	-	-	-	重症化予防	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。					
保健指導実施者(【実績値】87人 【目標値】令和6年度：90人 令和7年度：95人 令和8年度：100人 令和9年度：110人 令和10年度：120人 令和11年度：150人)-												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
3	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	16～74	被保険者	1	ス	事業所へ医師を派遣または被保険者が直接医療機関で接種し補助金を支給	カ,シ	契約医療機関から事業所へ医師を派遣	5,539	-	-	-	-	-	インフルエンザ予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)					
実施者数(【実績値】1,821人 【目標値】令和6年度：1,500人 令和7年度：1,500人 令和8年度：1,600人 令和9年度：1,600人 令和10年度：1,700人 令和11年度：1,700人)-												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
8	既存	常備薬補助金	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ス	毎年10月、常備薬斡旋のご案内をご自宅に郵送し、購入希望者は郵送で申し込む。一部常備薬の補助。	シ	委託先：白石薬品	416	-	-	-	-	-	セルフメディケーション	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)					
補助者数(【実績値】280人 【目標値】令和6年度：300人 令和7年度：300人 令和8年度：320人 令和9年度：330人 令和10年度：340人 令和11年度：350人)-												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
2,4	既存	重症化予防対策事業	全て	男女	22～60	加入者全員	1	エ,ス	・ICTIによる健診結果のリスク判定およびアドバイス ・リスク保有者に対しての個別の情報提供	シ	・データヘルス計画、健診結果のリスク分析の共有化	887	-	-	-	-	-	重症化予防	一人当たり医療費は年齢層が上がる毎に上昇し、特に50代以降の伸びが大きい。また、すべてのレセプト分類で医療費が増加傾向にあり、通院の医療費総額が最も高く、次いで入院、調剤、歯科の順となっている。					
受診勧奨者(【実績値】213人 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：210人 令和9年度：220人 令和10年度：230人 令和11年度：250人)-												予防検診のためのアウトカム測定が困難のため(アウトカムは設定されていません)												
2,3	既存	動脈硬化予防検診	一部の事業所	男性	18～74	被保険者	1	ス	契約医療機関を事業所へ派遣し実施	シ	委託先：中島クリニック	2,500	-	-	-	-	-	健康リスクの早期発見	医療費総額は歯科関係疾患が最も多く、それ以外では各種生活習慣病、悪性新生物が多い。また、白血病、脳内出血、腎不全などは一人当たり医療費が高い。婦人科系疾患の医療費も増加傾向にある。					
受診者数(【実績値】200人 【目標値】令和6年度：150人 令和7年度：160人 令和8年度：170人 令和9年度：180人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)-												予防検診のためのアウトカム測定が困難なため(アウトカムは設定されていません)												
2,5	既存	禁煙外来事業	全て	男性	20～74	被保険者	1	ス	スマホを利用した禁煙支援	シ	委託先：メドケア株式会社	302	-	-	-	-	-	喫煙率の低下	生活習慣病別の医療費において特に糖尿病、高血圧症、高脂血症は他の疾患比べて患者数が多い。					
受診者数(【実績値】2人 【目標値】令和6年度：2人 令和7年度：3人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)-												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)												
												577												

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							
2,5	既存	マイヘルスキャンペーン	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ア,ス	WEBにて生活習慣改善キャンペーンを実施。参加者や目標達成者にインセンティブ付与	シ	委託先：株式会社 法研	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	ヘルスリテラシーを身につけ日常生活のQOLを高めるとともに、将来的な医療費の適正化を図る。	生活習慣病別の医療費において特に糖尿病、高血圧症、高脂血症は他の疾患比べて患者数が多い。
参加者(【実績値】60人 【目標値】令和6年度：70人 令和7年度：80人 令和8年度：90人 令和9年度：100人 令和10年度：120人 令和11年度：150人)-												目標達成率(【実績値】60% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：70% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-							
2,5	既存	レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進事業	全て	男女	16～74	被保険者	2	エ,ケ,ス	・健康無関心層や健康関心層向けにRIZAP健康セミナーの実施する。 ・事業主を通じても参加動員	ア,シ	委託先：株式会社法 法研	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	ヘルスリテラシーを身につけ日常生活のQOLを高めるとともに、将来的な医療費の適正化を図る。	男性の肥満該当のうち、リスク保有者は約45%いる。非肥満でもリスク保有者は約38%いる。女性では、肥満該当のうちリスク保有者は約40%いる。非肥満該当でもリスク保有者は約20%いる。
セミナー数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)							
8	既存	健康づくり事業	全て	男女	16～74	被保険者	1	ケ,ス	事業主が主催する健康づくり事業参加者に健保組合が参加賞を提供する。	ア	-	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	運動習慣づくり	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
利用事業所数(【実績値】0件 【目標値】令和6年度：1件 令和7年度：2件 令和8年度：5件 令和9年度：5件 令和10年度：5件 令和11年度：5件)-												事業主が実施する健康づくりの支援のためアウトカム測定が困難である(アウトカムは設定されていません)							
8	既存	契約保養所	全て	男女	3～74	加入者全員	1	ス	加入者に契約保養施設の宿泊費を補助する。	シ	契約先：リソルの森、センボス（船員保険会）、かんぼの宿 他	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	基本的に前年度実施状況を評価し、継続（必要に応じて見直しを実施）	運動習慣づくり	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
利用者数(【実績値】9人 【目標値】令和6年度：20人 令和7年度：25人 令和8年度：30人 令和9年度：35人 令和10年度：40人 令和11年度：45人)-												本事業単独でのアウトカム測定が困難であるため(アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） シ. その他